

「最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出額14ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.2.20

2019年12月の機械輸出額は4兆2,099億円、対前年同月比6.5%減と、14ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、① 中国、韓国・台湾向け以外の4地域向けで前年同月比減少したこと、② 21業種中18業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が2.9%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は9.1%減となった。2020年1月の為替・営業日要因は10.5%の減少寄与要因となっているが、2月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2020年1月の機械輸出は4.0%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆5,768億円(前年同月比 [以下同じ] 6.3%減、13ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆7,314億円(4.9%減、8ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:1,546億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆2,099億円(6.5%減、14ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:9.1%減(4ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:2兆1,733億円(1.6%減、3ヶ月連続減少)

(2) 為替・営業日動向

2019年12月に2.9%の増加要因、2020年1月に10.5%の減少要因、2月に4.6%の増加要因。

(3) 地域別動向

- ① 中国、韓国・台湾向けを除き、4地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:14.4%減、5ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:3.7%増、10ヶ月ぶり増加(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:15.8%減、12ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:10.4%減、5ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:4.2%増、2ヶ月連続増加(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:1.3%減、3ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中3業種が増加。そのうち光学機械が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 原動力機械(ASEAN・南アジア、その他地域向け中心)、半導体製造装置(中国、韓国・台湾向け中心)、その他の光学機器(中国、韓国・台湾向け中心)等が大きくプラス
- ② 鉄道車両、建設機械、携帯電話、産業車両等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、携帯電話等5機種が増加

II トピックス

1. 【ベトナム】引き続き高い経済成長。消費市場としても注目が高まる

ベトナムの2019年の経済成長率は7.02%となった(政府は統計手法を変更しており、今後上方修正される可能性がある)。製造業は前年比11%増、輸出は同8%増となった。米中貿易摩擦の影響から、ベトナムへの直接投資が増加している。IMFは2020年のGDP成長率を6.5%、一人当たりGDPは3,000ドルに達すると予測している。一般に、一人当たりGDPが3,000ドルを超えると、自動車など耐久消費財の需要が増加されると言われる。これまでは生産拠点として注目されてきたベトナムだが、消費市場としての重要性も高まってきた。

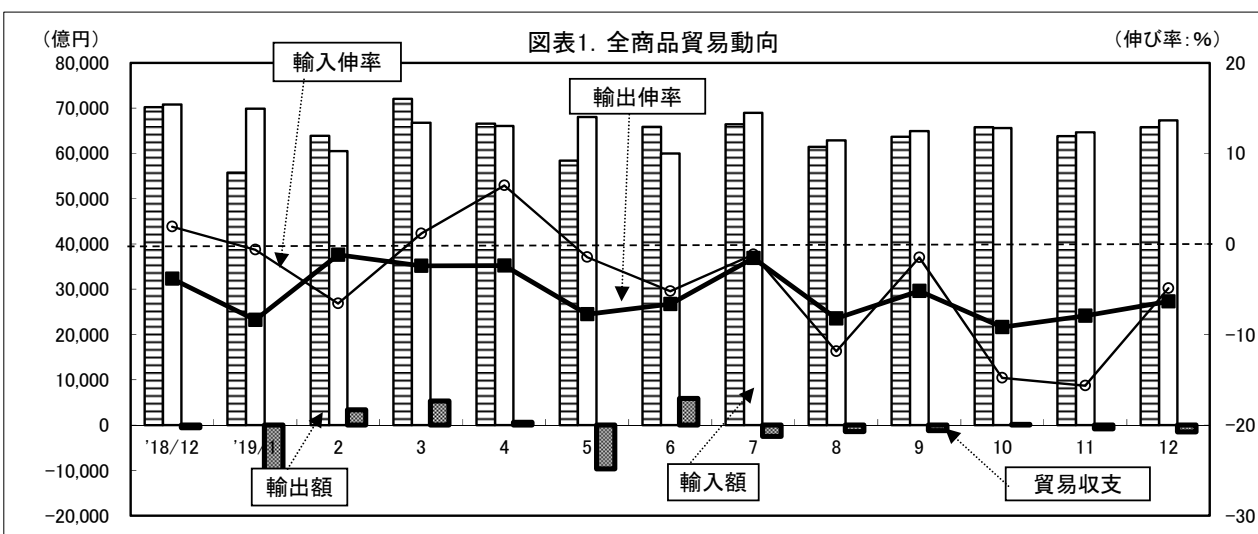
2019年のベトナムの自動車販売台数は前年比11.7%増の32.2万台となり、30万台の壁を突破した。地場メーカーも参入しており、ビンググループが初の自社生産の国産ブランド車を発売し、注目を集めた(同社はスマホの生産・販売も行っている)。政府は、2025年に年間100万台に到達する可能性があるとは指摘している。

小売分野では、ロッテなど韓国勢の動きが加速している。また、ベトナムはスマホの普及からEC市場が急速に拡大しており、2025年にはインドネシアに次ぐ規模(244億ドル)になる見通しである。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は13ヶ月連続で減少、輸入は8ヶ月連続減少～

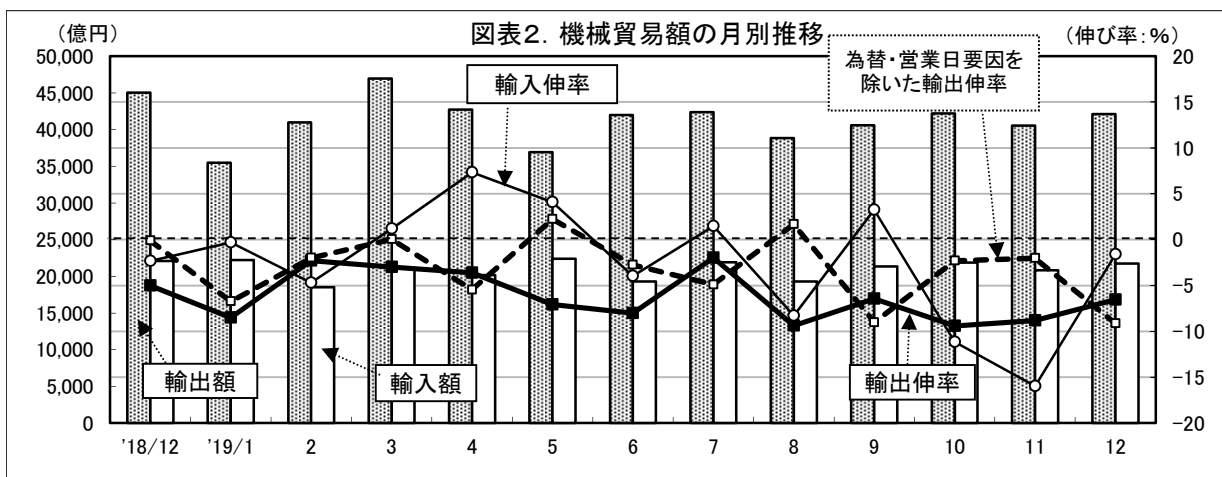
- 2019年12月の全商品輸出額は**6兆5,768億円**、前年同月比(以下同じ)**6.3%減**と13ヶ月連続で減少した(11月7.9%減)。これは、約22%を占める輸送用機器(10.7%減)をはじめ、約20%を占める一般機械(6.2%減)、約18%の電気機器(3.3%減)、約12%のプラスチック等化学製品(4.8%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(9.1%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**6兆7,314億円**、**4.9%減**と8ヶ月連続で減少した(11月15.7%減)。これは、全輸入額の約16%を占める電気機器(1.6%増)が増加したものの、約23%を占める原粗油等鉱物性燃料(14.3%減)をはじめ、約10%の医薬品等化学製品(8.7%減)、約9%の一般機械(7.4%減)、食料品(1.4%減)、原料別製品(7.8%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、2ヶ月連続で赤字(1,546億円、11月は852億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は14ヶ月連続、輸入は3ヶ月連続で減少～

- 全商品輸出額の約64%を占める12月の機械輸出額は**4兆2,099億円**、**6.5%減**と14ヶ月連続で減少し(11月8.8%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年12月)と比べると**82.3%**となって、前月に比べて1.6ポイント改善した(11月80.7%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は9.1%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約32%を占める機械輸入額は、**2兆1,733億円**、**1.6%減**と3ヶ月連続で減少し(11月16.0%減)、リーマンショック前(2007年12月)の水準に比べ、29.7%増となっている。

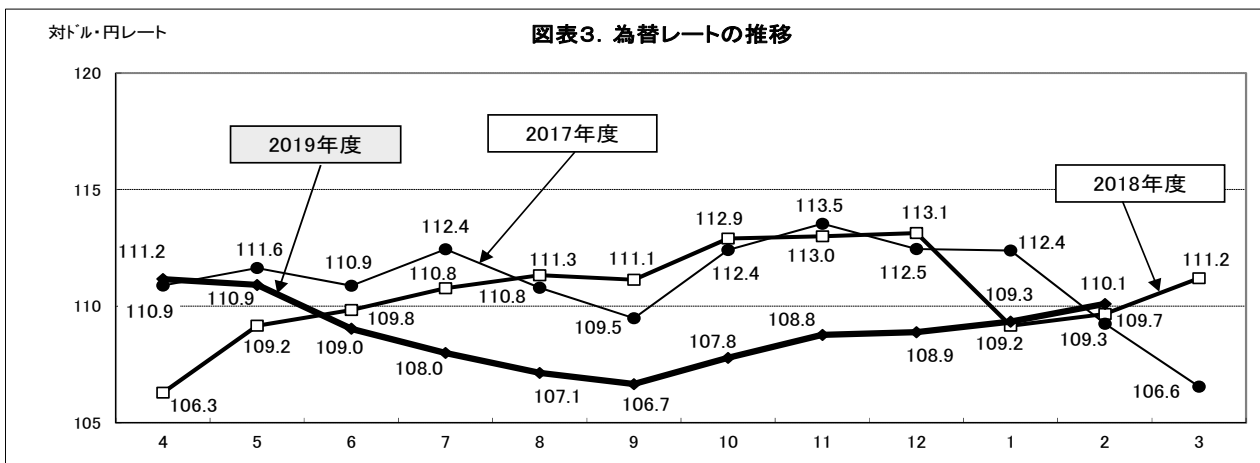


(2) 為替・営業日動向～12月は2.9%の増加要因、1月は11.0%の減少要因～

1) 2019年12月は1ドル=108.9円となり、前年に比べ3.8%の円高となった。また、対ユーロは120.5円と前年に対して6.3%の円高となり、合わせて約2.3%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日多いため、約5.3%の増加要因となり、合計で約2.9%の増加要因となる。12月の輸出額は6.5%減であったことから、実質的伸び率は9.1減と4ヶ月連続で前年同月比減少となった(11月2.0%減)。

2) 2020年1月は1ドル=109.3円で前年比0.2%の円安、対ユーロは121.8円で前年比2.6%の円高となり、合わせて約0.1%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約10.4%の減少要因となり、合計で約10.5%の減少要因となる。

3) 2020年2月は、対ドルが2月19日17:00時点の110.1円とすれば、前年比0.4%の円安、また、対ユーロは118.9円で4.8%の円高となり、合わせて約0.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に対して1日少ないこと及び中華圏における春節の影響を考慮すると、約4.7%の増加要因となり、合計で約4.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、韓国・台湾向けを除き、4地域向けで前年同月比減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.1%を占める北米向けでは、約15%を占める産業機械(1.8%増)が増加したものの、約50%を占める自動車(19.7%減)、航空機部品(8.6%減)、電池等軽電気機械(10.2%減)等が減少し、14.4%減となった。②24.5%を占める中国向けでは、電子デバイス(5.7%減)が減少したものの、産業機械(17.4%増)、配電機器等軽電気機械(8.4%増)、重電気機械(3.9%増)等が増加して3.7%増となり、③13.7%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(4.4%増)向けが増加したものの、シンガポール(32.5%減)、インドネシア(25.9%減)、パキスタン(41.1%減)向け等が大きく減少し、業種でも、電子デバイス(8.7%増)が増加したものの、自動車(19.3%減)、産業機械(10.0%減)等が減少して15.8%減となった。④12.6%を占めるEU向けは、41%を占める自動車(4.7%減)をはじめ、産業機械(10.0%減)、建設機械(44.1%減)等が減少して10.4%の減少となり、⑤10.2%を占める韓国・台湾向けは、自動車(12.7%減)等が減少したものの、産業機械(17.9%増)、電子デバイス(21.6%増)等が増加して4.2%増となった。⑥14.9%のその他地域向けでは、アフリカ(43.5%増)、中近東(3.8%増)向けが増加したものの、大洋州(11.8%減)、中南米(9.7%減)等向けが減少し、業種でも、船舶(75.0%増)が増加したものの、自動車(4.1%減)、産業機械(10.8%減)等が減少して1.3%の減少となった。

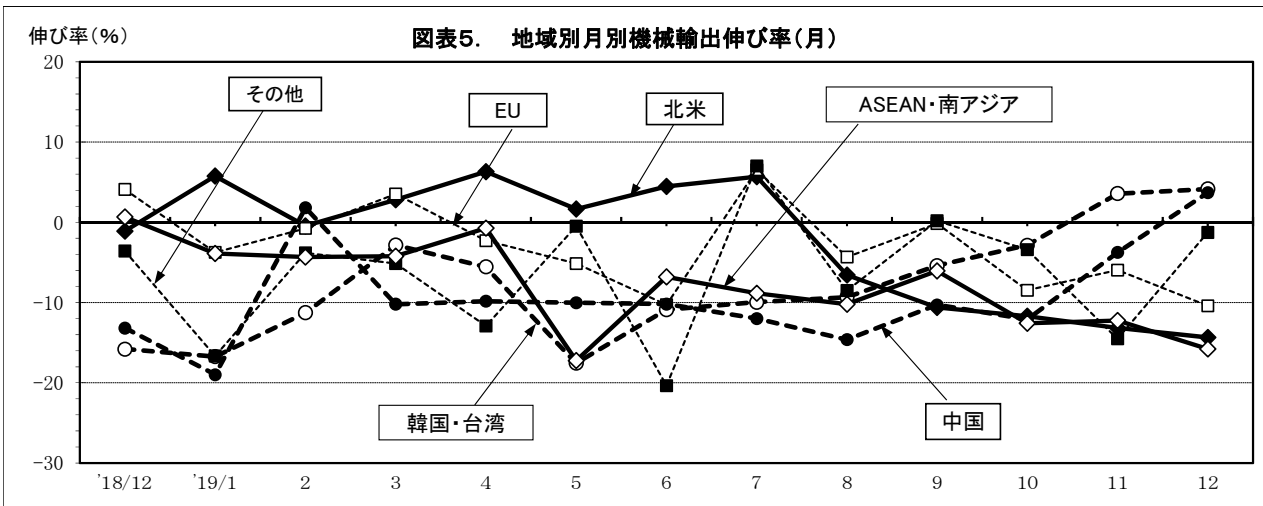
2) また、リーマンショック前の2007年12月の地域別輸出額と比較すると、中国向けが110%台、ASEAN・南アジア、韓国・台湾、北米向けが80%台、その他地域、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2019/10			2019/11			2019/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,219	▲ 9.4	100.0	40,556	▲ 8.8	100.0	42,099	▲ 6.5	100.0	0.82
北米	10,234	▲ 11.7	24.2	10,002	▲ 13.2	24.7	10,134	▲ 14.4	24.1	0.80
中国	9,440	▲ 12.1	22.4	9,546	▲ 3.8	23.5	10,334	3.7	24.5	1.14
ASEAN・南アジア	6,161	▲ 12.6	14.6	6,058	▲ 12.2	14.9	5,784	▲ 15.8	13.7	0.89
EU	5,154	▲ 8.5	12.2	4,799	▲ 6.0	11.8	5,293	▲ 10.4	12.6	0.62
韓国・台湾	3,976	▲ 2.9	9.4	4,118	3.6	10.2	4,277	4.2	10.2	0.86
その他	7,254	▲ 3.4	17.2	6,032	▲ 14.5	14.9	6,276	▲ 1.3	14.9	0.66

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

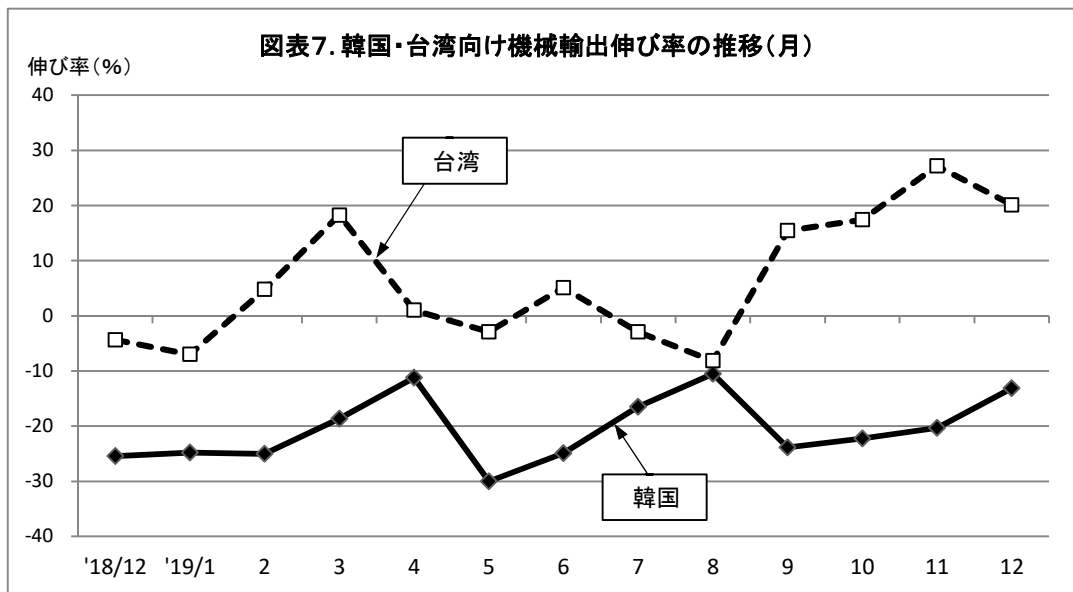


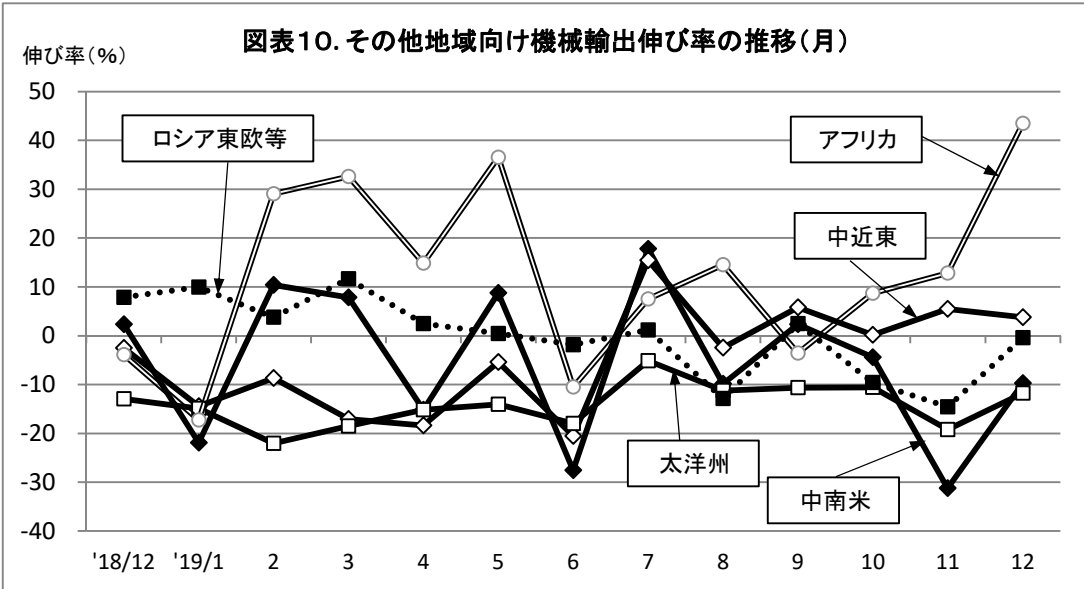
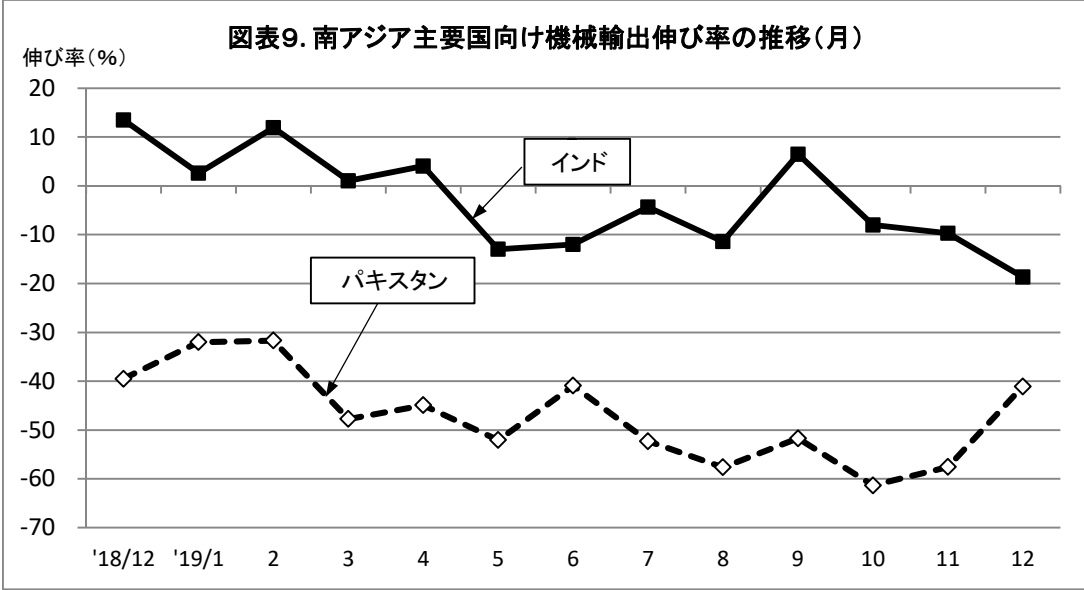
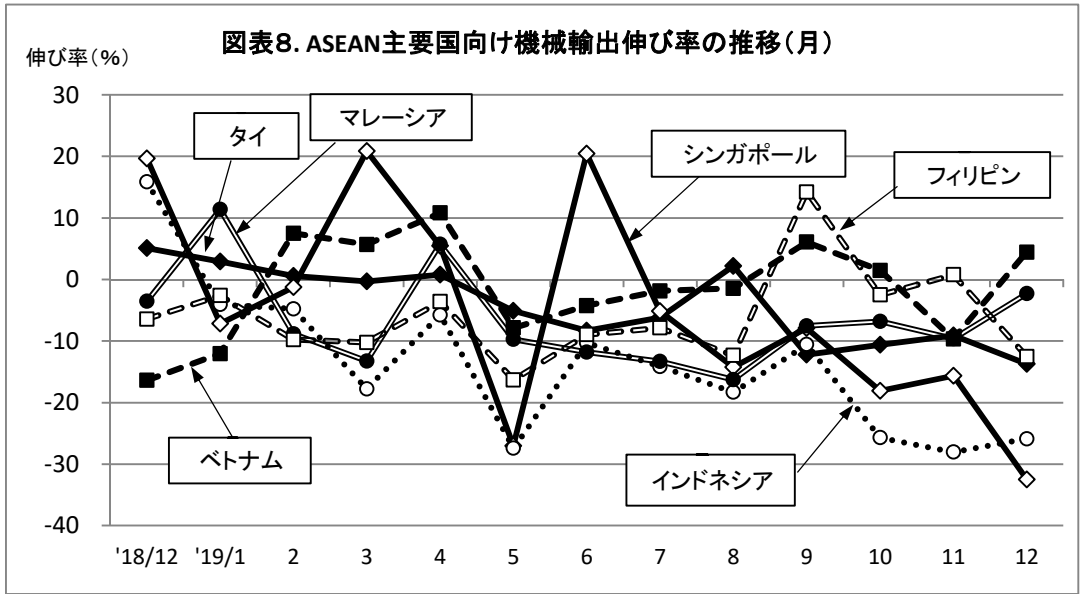
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2019/9		2019/10		2019/11		2019/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,713	▲ 23.9	1,628	▲ 22.2	1,575	▲ 20.3	1,713	▲ 13.1
台湾	2,301	15.5	2,348	17.4	2,543	27.2	2,564	20.1
ASEAN・南アジア								
タイ	1,633	▲ 12.2	1,585	▲ 10.6	1,636	▲ 9.1	1,609	▲ 13.7
シンガポール	865	▲ 7.9	875	▲ 18.1	952	▲ 15.7	763	▲ 32.5
インドネシア	872	▲ 10.6	775	▲ 25.7	670	▲ 28.0	668	▲ 25.9
マレーシア	632	▲ 7.6	663	▲ 6.8	643	▲ 9.6	638	▲ 2.3
フィリピン	705	14.2	657	▲ 2.5	661	0.8	559	▲ 12.5
ベトナム	896	6.1	887	1.5	821	▲ 9.6	820	4.4
インド	536	6.4	465	▲ 8.0	425	▲ 9.7	472	▲ 18.7
パキスタン	73	▲ 51.7	58	▲ 61.3	53	▲ 57.6	73	▲ 41.1
その他地域								
中南米	2,322	2.3	2,456	▲ 4.4	1,654	▲ 31.2	1,794	▲ 9.7
中近東	1,826	5.8	1,900	0.2	1,760	5.5	1,925	3.8
大洋州	1,094	▲ 10.6	1,088	▲ 10.5	1,101	▲ 19.2	959	▲ 11.8
ロシア東欧等	1,176	2.5	1,160	▲ 9.6	960	▲ 14.6	1,036	▲ 0.4
アフリカ	523	▲ 3.5	669	8.7	600	12.8	653	43.5

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 産業機械、電子デバイス、光学機械の3業種のみが増加。～

- 1)業種別では、産業機械(4.5%増)、電子デバイス(2.7%増)、光学機械(10.0%増)の3業種が増加した(11月は2業種)。そのうち、光学機械のみが二桁の伸びとなり、機械全体では6.5%の減少となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械、ベアリング、産業機械、光学機械の6業種となった(11月も6業種)。他方、鉄道車両、産業車両、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2019/10				2019/11				2019/12				対2007/12 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	14,802	▲ 10.3	35.1	自動車	14,778	▲ 8.0	36.4	自動車	14,552	▲ 11.1	34.6	0.79
産業機械	7,236	▲ 10.0	17.1	産業機械	7,144	▲ 5.9	17.6	産業機械	8,320	▲ 4.5	19.8	1.04
電子デバイス	3,831	▲ 0.7	9.1	電子デバイス	3,534	▲ 0.4	8.7	電子デバイス	3,482	▲ 2.7	8.3	0.81
軽電気機械	2,489	▲ 6.3	5.9	軽電気機械	2,425	▲ 1.3	6.0	軽電気機械	2,532	▲ 1.1	6.0	0.92
重電気機械	2,099	▲ 12.4	5.0	重電気機械	1,960	▲ 11.7	4.8	重電気機械	2,170	▲ 1.9	5.2	0.97
船舶	1,818	25.8	4.3	軽機械	1,651	▲ 7.8	4.1	軽機械	1,713	▲ 9.4	4.1	1.18
軽機械	1,676	▲ 9.1	4.0	民生用電子機械	1,413	▲ 8.0	3.5	民生用電子機械	1,472	▲ 8.1	3.5	0.45
民生用電子機械	1,403	▲ 14.4	3.3	光学機械	1,224	▲ 2.9	3.0	光学機械	1,345	▲ 10.0	3.2	1.00
光学機械	1,163	▲ 10.0	2.8	船舶	1,118	▲ 27.2	2.8	船舶	970	▲ 1.3	2.3	0.60
建設機械	1,134	▲ 18.5	2.7	建設機械	734	▲ 41.7	1.8	建設機械	861	▲ 40.0	2.0	0.56
航空機部品	803	▲ 15.7	1.9	航空機部品	731	▲ 1.8	1.8	航空機部品	704	▲ 2.2	1.7	2.04
工作機械	602	▲ 16.8	1.4	工作機械	625	▲ 15.9	1.5	工作機械	655	▲ 17.1	1.6	0.76
医療機械	499	▲ 7.4	1.2	医療機械	570	▲ 14.9	1.4	医療機械	587	▲ 0.2	1.4	1.22
通信機械	460	▲ 24.9	1.1	通信機械	463	▲ 12.4	1.1	通信機械	469	▲ 18.5	1.1	0.45
ベアリング	394	▲ 15.4	0.9	電子計算機	416	▲ 10.5	1.0	電子計算機	435	▲ 8.3	1.0	0.39
電子計算機	385	▲ 11.8	0.9	ベアリング	386	▲ 12.5	1.0	ベアリング	397	▲ 19.7	0.9	0.91
陸用内燃機関	364	▲ 27.4	0.9	陸用内燃機関	364	▲ 22.0	0.9	陸用内燃機関	383	▲ 16.5	0.9	1.08
農業機械	198	▲ 3.3	0.5	農業機械	207	▲ 6.5	0.5	農業機械	200	▲ 3.8	0.5	0.83
繊維機械	188	▲ 24.4	0.4	繊維機械	185	▲ 28.5	0.5	繊維機械	177	▲ 19.6	0.4	0.61
産業車両	114	▲ 16.1	0.3	産業車両	74	▲ 41.0	0.2	産業車両	84	▲ 38.3	0.2	0.36
鉄道車両	46	▲ 69.5	0.1	鉄道車両	31	▲ 75.0	0.1	鉄道車両	33	▲ 64.9	0.1	0.34
21業種合計	41,701		98.8	21業種合計	40,034		98.7	21業種合計	41,541		98.7	0.82

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～原動力機械が大きく増加、鉄道車両、建設機械、携帯電話等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示したのは、①ASEAN・南アジア、その他地域向け**原動力機械**(52.1%増)、②中国、韓国・台湾向け**半導体製造装置**(25.8%増)、③中国、韓国・台湾向け**その他の光学機器**(16.2%増)、④中国、北米、EU向け**電動機**(12.9%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(64.9%減)、建設機械(40.0%減)、携帯電話(38.5%減)、産業車両(38.2%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2019/10			2019/11			2019/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,818	25.8	医療機械	570	14.9	原動力機械	491	52.1
電動機	206	13.0	機種合計	570	* 1.4%	半導体製造装置	2,635	25.8
機種合計	2,024	* 4.8%				その他の光学機器	1,189	16.2
						電動機	214	12.9
						機種合計	4,529	* 10.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2019/10			2019/11			2019/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	46	▲ 69.5	鉄道車両	31	▲ 75.0	鉄道車両	33	▲ 64.9
携帯電話	14	▲ 53.7	建設機械	734	▲ 41.7	建設機械	861	▲ 40.0
通信機械部分品	139	▲ 46.5	産業車両	74	▲ 41.0	携帯電話	22	▲ 38.5
原動力機械	298	▲ 30.1	写真機の部分品・附属品	96	▲ 30.5	産業車両	84	▲ 38.2
発電機	67	▲ 28.3	通信機械部分品	131	▲ 29.8	通信機械部分品	139	▲ 26.1
陸用内燃機関	364	▲ 27.4	繊維機械	185	▲ 28.5	写真機の部分品・附属品	78	▲ 25.2
繊維機械	188	▲ 24.4	船舶	1,118	▲ 27.2	TV	114	▲ 20.6
伝動機	382	▲ 20.0	携帯電話	20	▲ 24.8	陸用内燃機関	397	▲ 19.7
産業用ロボット	154	▲ 19.8	TV	102	▲ 23.3	繊維機械	177	▲ 19.6
建設機械	1,134	▲ 18.5	産業用ロボット	132	▲ 22.7	産業用ロボット	141	▲ 18.3
機種合計	2,786	* 6.6%	機種合計	2,623	* 6.5%	機種合計	2,046	* 4.9%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち携帯電話等5機種が増加～

- 1) 12月の機械輸入伸び率は1.6%減と3ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち5機種が増加し、そのうち携帯電話(21.0%増)、乗用車(12.9%増)、受信変換その他送受信機器(10.7%)の3機種が二桁の増加となった。減少したのは、電子デバイス(1.8%減)、航空機・部品等(2.8%減)、自動車部品(18.4%減)、白物家電(9.7%減)、医療機械(7.6%減)等7機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、受信変換その他送受信機器、医療機械、配電機器、TV、時計、通信機械部分品、鉄道車両の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の38%を占める中国(前年同月比横這)、EU(1.8%増)、ASEAN・南アジア(3.4%減)、北米(6.0%減)、韓国・台湾(2.8%減)、その他地域(1.6%減)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2019/10				2019/11				2019/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,174	▲ 23.8	9.9	電子デバイス	1,993	▲ 20.0	9.6	電子デバイス	2,196	▲ 1.8	10.5
電子計算機	1,956	3.5	8.9	電子計算機	1,991	▲ 4.8	9.6	電子計算機	2,078	4.2	10.0
航空機・部品等	1,563	3.7	7.1	携帯電話	1,677	▲ 43.3	8.1	航空機・部品等	1,896	▲ 2.8	9.1
自動車部品	1,104	▲ 22.7	5.0	乗用車	1,202	▲ 15.3	5.8	携帯電話	1,578	21.0	7.6
乗用車	1,038	9.1	4.7	自動車部品	1,094	▲ 22.6	5.3	乗用車	1,280	12.9	6.1
医療機械	743	▲ 6.4	3.4	航空機・部品等	1,023	▲ 7.9	4.9	自動車部品	984	▲ 18.4	4.7
受信変換その他送受信	685	1.5	3.1	白物家電	740	▲ 13.4	3.6	白物家電	688	▲ 9.7	3.3
白物家電	670	▲ 10.7	3.1	受信変換その他送受信	704	6.1	3.4	医療機械	683	▲ 7.6	3.3
配電機器	592	▲ 13.0	2.7	医療機械	685	▲ 13.9	3.3	受信変換その他送受信	673	10.7	3.2
コンデンサー等部分品	412	0.7	1.9	配電機器	595	▲ 11.2	2.9	配電機器	576	▲ 8.7	2.8
その他の配電制御装置	377	▲ 15.0	1.7	コンデンサー等部分品	411	▲ 5.2	2.0	コンデンサー等部分品	431	7.4	2.1
時計	334	19.1	1.5	その他の配電制御装置	362	▲ 14.9	1.7	その他の配電制御装置	400	▲ 0.8	1.9
12機種合計	11,648		53.3	12機種合計	12,477		59.9	12機種合計	13,463		61.9

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等